

4月のできごと

夢民舎が早来フェリー レを応援

夢民舎は、隣接するはだしの広場で懸命に練習に励む早来フェリーレフトボールクラブの選手を応援したいと、昨年9月に第1回はいチーズニコニコカップを主催。今年も開催する予定である同大会の運営費として協賛金が贈呈されました。協賛金を受け取った選手2名は、「はだしの広場で開催できる大会が増えたことが嬉しい」と感謝を表し大会での活躍を約束していました。



3月29日協賛金を贈呈

全国ソフトテニス大会 で大活躍

3月末、千葉県白子町で開催された第12回全国ソフトテニス小学生大会に出場した大井珠莉さん（大会時早来小学5年）と笹山桜さん（同4年）が出場し、順位別4位決勝トーナメントまで進み、同トーナメント戦で優勝しました。4月4日、2人は役場を訪れ瀧町長に結果を報告。全国大会の感想を尋ねられ、「少し緊張したけど、楽しかった」と笑顔を見せていました。



4月4日町長を表敬訪問

絵手紙でこころ通わす

4月12日、早来雪だるま郵便局で雪だるま絵手紙教室が行われました。会場には、同教室の先生である苦小牧絵手紙の会の鈴木臣子さんが埼玉県にある絵手紙教室へ贈った安平町の雪だるまに対する、お礼の絵手紙が展示されており、本物の雪で作られた雪だるまに驚き、感激している様子が絵で表現されていました。

この日は「あじ」を題材に絵手紙を作成。できあがった作品に対して会員の仲間から「その絵良いね」、「丸々太っていて美味しそう」と声を掛け合う様子や食に関する話が飛び交う、「笑いの絶えない明るい憩いの場」の様子を見ることができました。

暖かい時期は、屋外へスケッチに出ることや展示会を開催、また、他の展示会にも出品することもあるそうで、笑顔が飛び交う中で行われる同教室は、会員の「元気の源」になっている様子が感じられました。

同教室の会員である楠木洋子さんは、「絵手紙にはメール

などにはない温もりがある」、「絵手紙を通して交流の輪を広げていきたいな」と絵手紙や活動内容に対する思いを笑顔を交えながら話し、「絵の上手い下手を問わずに、憩いの場や他愛もない話を楽しめる場所としても活用できるので多くの人に参加してほしい」と教室への参加を呼びかけていました。

同教室は、月に1度で第2金曜日または、第3金曜日に、早来雪だるま郵便局コミュニティルームで開催されていますので、一度見学に訪れてみてはいかがでしょうか。



4月12日あじを題材に絵手紙教室

電源立地地域対策交付金事業を実施しました

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の設置と運転を円滑に行うため、発電用施設の周辺自治体が行う公共用施設の整備や地域住民の福祉の向上を図ることを目的に自治体に交付されています。

安平町では、苦東厚真発電所（火力発電）の周辺町として、平成24年度は8,980千円の電源立地地域対策交付金を受け、小中学校及び給食センターの燃料費として使用しました。

（この記事に関するお問い合わせは企画財政課企画グループ（☎2751）まで）

